



糖尿病タイムズ



第48号 (2024年 3月1日発行)



「みよしぶどう友の会」って知った!?



みよしぶどう友の会は、市立三次中央病院の糖尿病療養指導チームが中心となり平成25年(2013年)10月に発足し、会員は、当院に通院中の糖尿病患者さんやそのご家族、医療スタッフです(2024年1月現在の会員数は19名)。

名前の由来は、三次の名産「ぶどう」と、糖尿病で血糖値を意味する「ぶどう糖」(グルコースともいう)から名付けられました。



どんなことしてるん?



みよしぶどう友の会では、糖尿病について正しい知識をもち、理解を深め、また会員相互の交流・親睦を深めることを目的に活動しています。

<主な活動内容>

- ・年2回(春と秋)のウォーキング大会を通して、運動療法の効果を体験し、会員同士の親睦・交流を図っています。
- ・医師・看護師など医療スタッフを講師にミニ講義を行い、糖尿病療養に関する知識を深めています。
- ・年1回、みよしぶどう友の会総会を開催し、患者会の活動報告や収支報告などを行っています。



ポールを使った“ノルディックウォーキング”を取り入れています



コロナ禍前の2019年には、広島市立北部医療センター安佐市民病院の糖尿病患者会「つばさの会」のみなさんと交流会を開催しました!



医師による運動療法についてのミニ講義



みよしぶどう友の会では、来年度からの新規会員を募集しています!

患者会に入会していただくと、日本糖尿病協会が発行する月刊誌「さかえ」の購読が可能です。(年会費:3000円)



患者会の活動を通して皆で語り合い、糖尿病について一緒に学んでみませんか? ご興味のある方は、内科外来または医事課にお気軽にお声掛けください。



<編集後記> コロナ禍により患者会の活動も長らく制限が続いていましたが、昨年久々にウォーキング大会を開催することができました!今年も患者さんと楽しく活動できることを楽しみにしています(^ ^)

発行元: 市立三次中央病院
糖尿病療養指導チーム
文責: 管理栄養士 荒砂慶子